



平成 30 年 8 月 21 日

岩倉のすべての子どもたちが

心身ともに健やかに成長できる環境をもとめる請願書

岩倉市議会議長 黒川 武 殿

請願団体 岩倉市立保育園父母の会連絡会

賛同団体 岩倉市職員組合保育園支部

代表者 小林 麻衣

住所 岩倉市

紹介議員

場 本 秋 雄

科 谷 規 子

木 村 冬 樹

堀 巖

樽 井 伸 賢

宮 川 隆

鈴 本 麻 佳

大 野 慎 治

【請願趣旨】

少子化、核家族化及び地域交流の希薄化が進行する一方で、働く女性が活躍し、就労形態が多様化する社会において、子どもを育てる環境や保育施設の在り方は大きく変化しています。

その中で国は、まち・ひと・しごと創生総合戦略を定め、少子化対策、若い世代の経済的安定、子育て支援や働き方改革を推進しています。

岩倉市においても、第4次岩倉市総合計画及び岩倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、「子育て世代 住みたいまちNO. 1」を基本目標の1つにしています。そして市長のマニフェストでも1つ目の柱として「子育て環境の充実」を掲げていることから、保育施策が非常に重要な位置づけであると認識しています。

子育て世代、特に経済的安定など働かざるを得ない環境にある家庭では、保育施策の充実こそが「住みたいまち」に欠かせない重大な要素の1つです。また、安心して仕事に就けることは、良質な子育て環境に寄与することに繋がります。

各園の定員の問題や0歳児の受入枠の問題から、依然としてきょうだい在同一の保育園に入園できていない状況が続いています。送迎の負担や行事に参加できないなどの平常時の問題はもちろんのこと、災害時に安否確認や子どもの引取りが困難になることも予想されます。また、きょうだい在同一保育園にいることは、子どもの精神的な安定にもつながります。より柔軟で適切な保育の充実を図っていただきたく、次のことについてお願いいたします。

【請願項目】

- ① 0歳児保育の実施園の拡充を望みます。
- ② 希望するすべての家庭の子どもがきょうだいで同一の保育園に入園できるよう望みます。